



新春・労使共同セミナー／交流会を開催



各監督とのエピソードに
笑いを交えて話す広澤氏

1月22日、前橋テルサにおいて、群馬県経営者協会と共催で2013新春・労使共同セミナーと交流会を開催し、来賓・企業・労組などから401名が参加しました。

本セミナーは、群馬県経営者協会と連合群馬の共催で行っており今年で11回目となりますが、毎年、新春の幕開けとして、労使での共通の話題をテーマに講師を招いて開催しています。

第1部のセミナーは、元プロ野球選手で、スポーツコメンテーターの広澤克実氏を講師に迎え、「我が野球人生」と題した講演が行われました。

広澤氏は、「長嶋・野村・星野監督は発想力に長けている共通点がある。リーダーとは生きるための知識と戦うための知恵、その両方が備わって初めてリーダーではないか。彼ら3人のもと『リーダーとは』というものを学ばせていただいた」と話されました。



広澤氏の話聞いて爆笑する参加者

第2部の交流会は、つゆ草の和太鼓演奏で始まり、大澤知事をはじめとするご来賓と労使が一堂に会するなか、講師の広澤氏にもご参加いただき、新春の交流が行われました。

昨年に引き続き東日本大震災復興支援として、鏡開きの樽酒は岩手県の両磐酒造（フード連合）の「関山」を取り寄せ、食事に岩手・宮城・福島^{かんざん}の郷土料理も取り入れました。

また、新たな取り組みとして、前橋市に拠点を置く地域コミュニティ「ふくしまや」が出店し、福島県の特産品や生産品の販売を行い、参加者の方々に購入していただきました。

抽選会では、現地に赴いてもらうことを目的に、「東北旅行」の抽選を行い、2名の方が当選しました。さらに、セミナーで講演いただいた広澤氏のサイン色紙を2名の方にプレゼントしました。



和太鼓を披露するつゆ草メンバー



新たな年を祝い鏡開き



「東北旅行」が当選した2名



広澤氏のサインが当選した2名



民主党県連・連合群馬意見交換会

1月22日、民主党群馬県連と連合群馬四役との意見交換会が開催されました。

冒頭、柿沼民主党県連会長より「多大なるご支援をいただいておりますが、結果を出すことができなかつた。夏の参院選までに方向性をつくり、やっぱり民主党だと言ってもらえるようがんばっていきたい」とあいさつがありました。北川会長からは「労働組合は、敗因などを評論家になって語るのではなく、自分たちの活動として評価をしようと考えている。直近の参院選にはみんなで知恵をだしあい、一から出直すくらいの気持ちでやっていきたい」と決意も含めあいさつがありました。

意見交換の中では、一から組織を立て直す必要性や、継続して論議していくことを確認しました。



今後に向けた意見交換